

# 持続可能な発展のための ガバナンス



社会基盤工学講座  
講師 中村 秀規

## 研究分野

環境政策、環境ガバナンス、臨床環境学<sup>(\*)</sup>、社会工学<sup>(\*)</sup>

## 研究内容

東日本大震災の体験を踏まえ、持続可能な発展に向けて、みんなにかかわることをみんなで決めて引き受ける仕組み（ガバナンス）について研究しています。

## 私の研究のポイント

市民が少しでも主体的に環境エネルギー政策の立案と評価に参画するため、行政や専門家のみでルールを決定するのではなく、市民が問題を知らうとし、市民どうしが対話する可能性を探っています。例えば、原子力発電に伴って発生している放射性廃棄物処分の問題を取り上げ、無作為に案内を受けて参加する市民どうし、また市民と専門家とが対話する実験を行っています。そのほか、自治体等と地域主導の火山防災の場づくりにも取り組んでいます。

## REPORT リポート



原子力発電に伴う放射性廃棄物に関する市民対話の様子  
（愛知県春日井市）

注：中部大学共同利用・共同研究拠点採択共同研究課題主催。  
専門家は個人としての参加。解像度を落としてあります。